

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援スマイル本店		
○保護者評価実施期間	2025年11月13日		2025年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42 (40家庭)	(回答者数) 34 (32家庭)
○従業者評価実施期間	2025年11月13日		2025年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性に優れた療育の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日は個別と小集団の2部制に分かれてることで、それぞれのニーズに合った活動を提供することができている。</li> <li>専門職や各職員の意見を取り入れることができるように、終礼時に話し合う機会や設けることや職員のスキルアップも目指し、目標設定や振りかえりを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も療育の質を向上させるために、各分野の職員が行う研修会を取り入れ、職員同士で学ぶ機会を設ける。</li> </ul>
2	保護者の方へ日々の支援の共有、周囲への支援の広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳や送迎時の他に連絡ツールで写真を送ることや事業所独自の1カ月ごとの計画書を作成し、お子様の日々の様子を視覚化できるように努めている。</li> <li>ブログやSNSを通して、事業所でのイベントや活動内容を掲載し、利用者さんや利用を検討している人に発信を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブログやSNSに事業所内のイベントだけではなく、避難訓練や災害時に備えた職員間の委員会や研修を、掲載し、保護者様や利用を検討している人に取り組みが分かるように発信を行う。</li> </ul>
3	各スペースに合わせた活動の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内にプレイルーム、個室、療育施設の部屋を完備しているため、児童の特性やニーズに合わせて部屋を使い分けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部屋分けを考える際は、当日に来所する児童の特性をふまえて、使い分けやグループ分けを今後も継続して行う。</li> <li>職員内での児童の様子の共有や声掛けを行い、安全な環境がつかれるように努める。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時に備えた避難訓練等の取り組みやマニュアルの保護者様の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所で避難訓練や安全指導の研修は行われているが保護者が知る機会が少ないため、事業所での取り組みを知ってもらえていないことで不安に思うご家庭がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練や職員研修については、ブログやSNSを通してスマイルで行っている取り組みについて、発信を行う。他にも既存のご利用者様には、お便りや連絡ツールでお知らせを行い、安心してお子様を通わせて頂けるように努める。</li> </ul>
2	地域交流、利用児童以外のお子様との交流について	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所では、地域に向けたイベントを今年度2回開催し、地域の方が事業所に来られる機会をつくったが、利用児童と地域の児童の交流する機会が少なかった。</li> <li>事業所の親子イベントでは、利用児童のきょうだいも参加し、他利用児童とイベントの参加の中で交流ができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の行事イベントに可能であれば事業所の職員と参加し、地域交流や事業所外の児童との交流の機会をつくる。</li> <li>親子イベントを今後も継続して行い、きょうだい児童等、利用児童以外と活動を行う場を提供する。</li> </ul>
3	職員の配置数について	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所に定められた人員配置の基準は満たしているが、送迎業務や児童数に伴い、場面によっては、職員数が足りないと感じることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童数が多い日の人員の確保はシフト調整で継続し、送迎表の組み方や児童、職員の部屋やグループ分けをその場の児童の特性に応じて工夫を行い環境を整える。</li> </ul>